

長崎原爆資料館

施設管理者：長崎市

施設所在地：長崎県長崎市平野町7番8号

調査見学時期：平成28年8月25日（木）

施設概要：

当館は、長崎市原爆被爆50周年記念事業の一つとして、被爆の実相と長崎市民の平和への願いを広く発信するため、1996年（平成8年）4月、それまで被爆資料を展示していた長崎国際文化会館を建て替えて開館した。

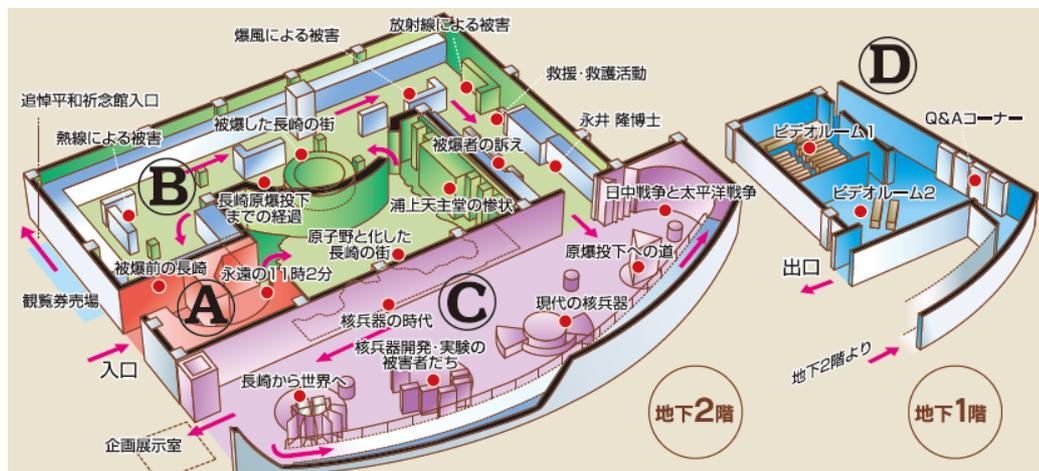
建物は爆心地を臨む高台に位置しており、地上1階・地下2階からなる。爆心地周辺の景観に配慮し、地下部分が展示スペースとして活用され、地上部分は庭園となっている。1階に玄関があり、地下2階の展示スペースまではらせん状のスロープを下りていく。常設展示物は地下2階で見学することができる。

ここでは、例えば爆発の時刻を指して止まっている柱時計、折れ曲がった火の見櫓の鉄骨、被爆した浦上天主堂の側壁（再現造型）や天使像、溶けたロザリオなどの被災資料など、被爆の惨状を示す多くの資料が大切に保存・展示されている。また、原爆が投下されるに至った経過や核兵器開発の歴史などの展示も行っている。

展示物の他にも館を拠点として、平和推進の取り組みや平和学習の支援も行っている。



原爆資料館外観



常設展示室